

令和6年大阪市消防活動概況（速報）

大阪市消防局では、令和6年中の大阪市内での火災、救急、救助等の活動の概況を取りまとめました。なお、令和6年中の数値はすべて令和7年1月27日時点の速報値です。

◆火災件数は昨年と比べて13件増加

火災件数は720件と、前年(707件)と比較すると13件増加(1.8%)しています。令和3年までは減少傾向にありましたが、令和4年からは増加傾向にあります。

◆主な火災原因は、「たばこ」、「電気配線類」、「電気製品」

火災原因別で見ると、「たばこ」が最も多く、次いで「電気配線類」、「電気製品」、「放火(疑いを含む)」となっています。(調査継続中のもの含む)

◆救急出場件数及び搬送人員は増加

救急出場件数は268,123件で、前年と比較すると5,034件(1.9%)増加し、搬送人員は218,726人で、9,616人(4.6%)増加しました。救急出場件数、搬送人員ともに集計開始以来最多となっています。

◆救助活動件数は増加

救助活動件数は4,628件で、前年と比較すると197件(4.4%)増加しました。

令和6年消防活動概況表

	令和6年	令和5年	増減数	増減率
火災件数(件)	720	707	13	1.8%
焼損床面積(m ²)	5,211	7,178	-1,967	-27.4%
損害額(千円)	611,368	791,599	-180,231	-22.8%
火災による死者(放火自殺者を除く)(人)	23	21	2	9.5%
放火自殺者(人)	3	4	-1	-25.0%
負傷者(人)	164	179	-15	-8.4%
救急出場件数(件)	268,123	263,089	5,034	1.9%
搬送人員(人)	218,726	209,110	9,616	4.6%
救助活動件数(件)	4,628	4,431	197	4.4%
火災・救急・救助以外の出場件数(件)	9,190	8,946	244	2.7%

※ 数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

1 火災概況

(1) 火災件数

- ・火災件数は720件と、前年(707件)と比較すると13件増加(1.8%)しています。令和3年までは減少傾向にありましたが、令和4年から増加傾向にあります。
- ・火災種別では、建物火災が575件で、前年に比べ24件(4.4%)の増加となりました。
- ・火災による死者(放火自殺者を除く)は23人で、前年と比較すると2人(9.5%)増加、負傷者は164人で、15人(-8.4%)減少しました。
- ・「火災0(ゼロ)の日」は62日ありました。(前年と比較し12日増加)

(表1)火災概況

区 分	単 位	令和6年(A)	令和5年(B)	比較(A-B)	増減率	
火 災 件 数	件	720	707	13	1.8%	
火 災 種 別	建 物	575	551	24	4.4%	
	車 両	47	42	5	11.9%	
	船 舶	1	2	-1	-50.0%	
	航 空 機	0	0	0	-	
	爆 発	2	3	-1	-33.3%	
	そ の 他	95	109	-14	-12.8%	
焼 損 程 度	全 焼	13	18	-5	-27.8%	
	半 焼	19	18	1	5.6%	
	部 分 焼	169	142	27	19.0%	
	ぼ や	374	373	1	0.3%	
床 面 積	面 積	5,211	7,178	-1,967	-27.4%	
	建物火災1件あたり	9.1	13.0	-3.9	-30.0%	
焼 損 表 面 積		m ²	2,427	2,822	-395	-14.0%
損 害 額	損 害 額	千円	611,368	791,599	-180,231	-22.8%
	火 災 1 件 当 たり	千円	849.1	1,119.7	-270.6	-24.2%
死 傷 者	死 者	放火自殺者を除く	23	21	2	9.5%
		放火自殺者	3	4	-1	-25.0%
	負 傷 者	164	179	-15	-8.4%	
あ 1 日 たり	火 災 件 数	件	2.0	1.9	0.1	5.3%
	焼 損 床 面 積	m ²	14.2	19.7	-5.5	-27.9%
	損 害 額	千円	1,670.4	2,168.8	-498.4	-23.0%
人口1万人あたりの火災件数		件	2.6	2.6	0.0	0.0%
火災0の日		回	62	50	12	24.0%

大阪市人口 令和5年10月1日現在推計 人口2,770,520人

大阪市人口 令和6年10月1日現在推計 人口2,791,907人

※人口は、大阪市計画調整局HP掲載「大阪市推計人口年報」より抜粋しています。

※ 数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

(2) 火災原因

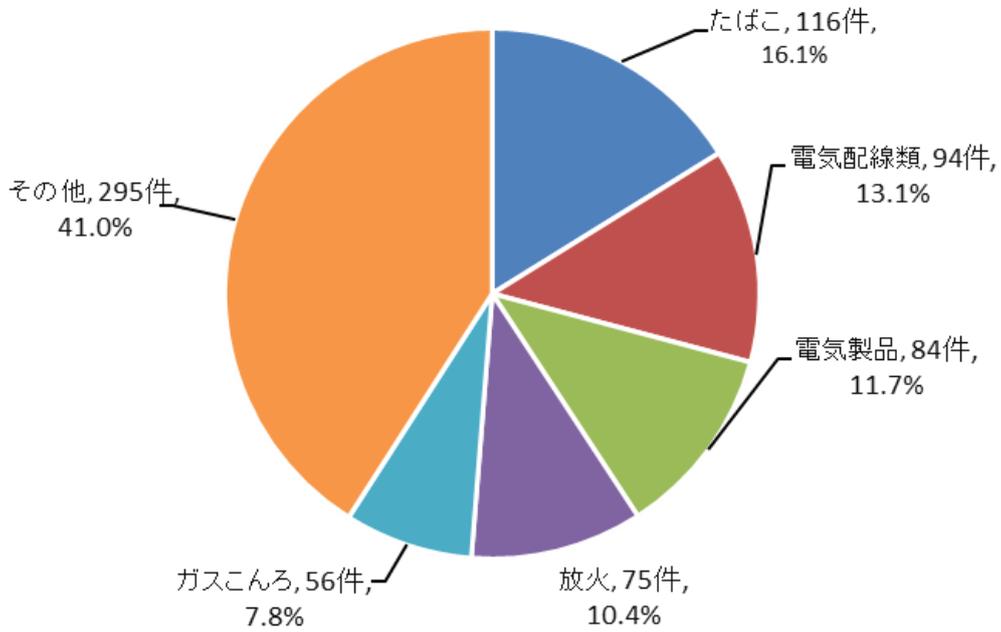
- ・主な火災原因は、「たばこ」(116 件)、「電気配線類」(94 件)、「電気製品」(84 件)でした。(※調査継続中のもの含む)【図1参照】
- ・「たばこ」は116 件で、平成30年から連続して最も多い原因であり、前年(130 件)と比較すると14 件減少しました。
- ・「電気配線類」は94 件、「電気製品」は84 件で、令和4年から増加傾向にあります。
- ・「放火(疑い含む)」は75 件で、前年(82 件)と比較すると7 件減少しました。【図2参照】

(表2)原因別火災概況

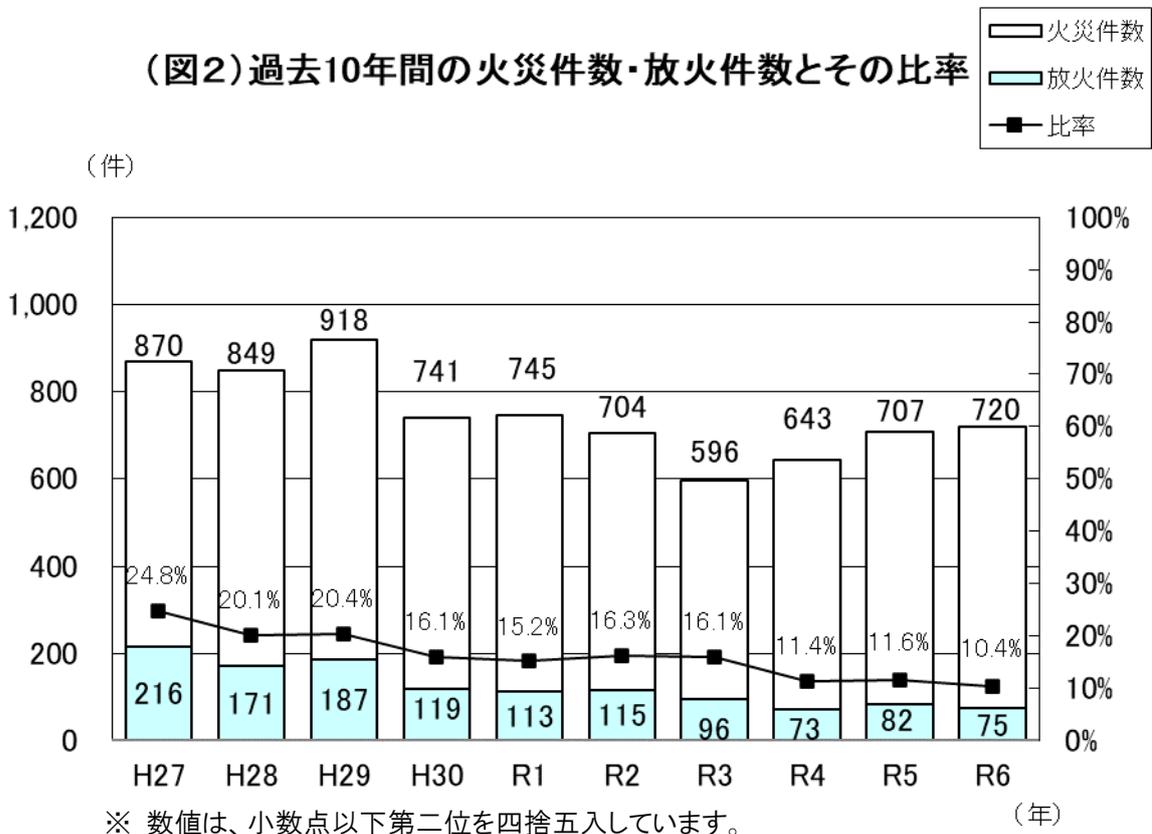
原因別		令和6年(A)				令和5年(B)				比較(A-B)	
		件数		比率		件数		比率			
たばこ	寝たばこ	116	11	16.1%	1.5%	130	19	18.4%	2.7%	-14	-8
	その他		105		14.6%		111		15.7%		-6
電気配線類		94		13.1%		74		10.5%		20	
電気製品		84		11.7%		72		10.2%		12	
放火 (疑い含む)	建物内	75	40	10.4%	5.6%	82	37	11.6%	5.2%	-7	3
	建物外		35		4.9%		45		6.4%		-10
ガスこんろ		56		7.8%		79		11.2%		-23	
天ぷら油	ガス	51	42	7.1%	5.8%	47	36	6.6%	5.1%	4	6
	その他		9		1.3%		11		1.6%		-2
自動車等(放火除く)		27		3.8%		24		3.4%		3	
溶接(断)機		20		2.8%		13		1.8%		7	
電気ストーブ		16		2.2%		16		2.3%		0	
ライター		13		1.8%		10		1.4%		3	
電気こんろ		12		1.7%		7		1.0%		5	
ロソク		12		1.7%		9		1.3%		3	
火遊び		10		1.4%		9		1.3%		1	
自然発火		8		1.1%		7		1.0%		1	
コンデンサ		6		0.8%		3		0.4%		3	
ストーブ(電気以外)		6		0.8%		2		0.3%		4	
たき火		2		0.3%		0		-		2	
その他		69		9.6%		69		9.8%		0	
不明(調査中含む)		43		6.0%		54		7.6%		-11	
合計		720		100%		707		100%		13	

※ 数値は、小数点以下第二位を四捨五入のため合計が一致しない場合があります。

(図1)原因別火災概要(令和6年)



(図2)過去10年間の火災件数・放火件数とその比率



2 救急活動概況

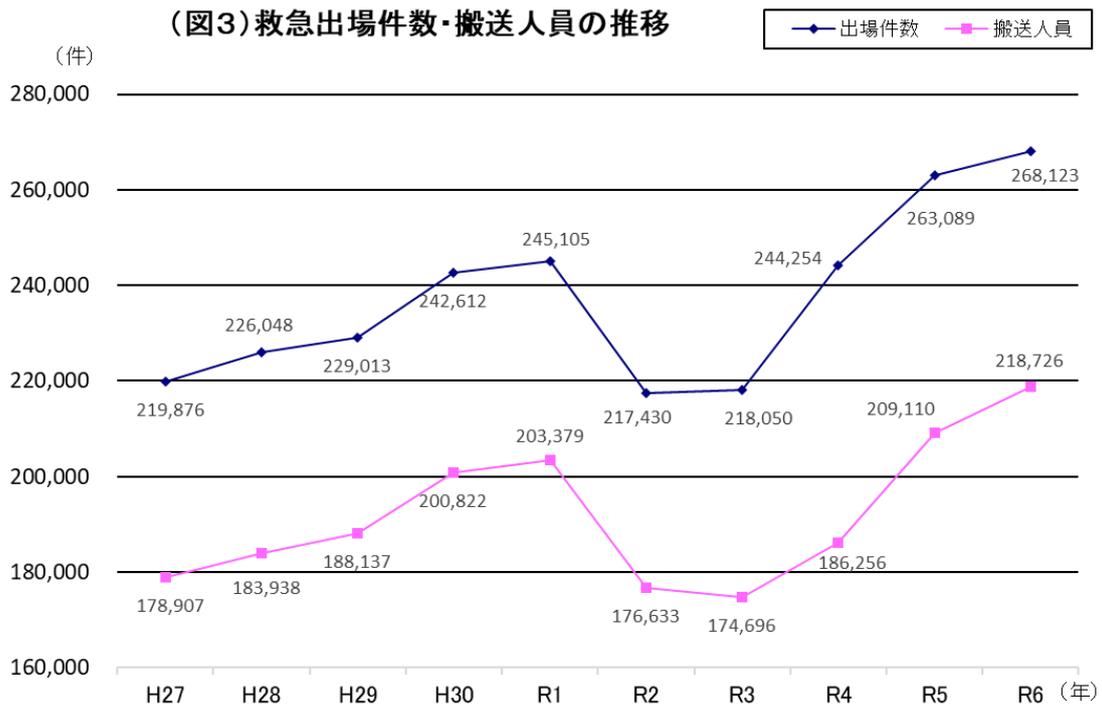
- ・令和6年中の救急出場件数は 268,123 件で、前年と比較すると 5,034 件(1.9%)増加し、搬送人員は 218,726 人で、9,616 人(4.6%)増加しました。救急出場件数、搬送人員ともに集計開始以来最多となっています。【図3参照】
- ・1日あたりの平均出場件数は約 732.6 件(前年比 11.8 件増)で、時間に換算すると約2分に1件の割合で救急車が出場し、1年間を通じて大阪市民 12.8 人に1人が救急車を利用したことになります。
- ・事故種別の救急出場件数は1位が「急病」(185,831 件)で、前年と比べて 1,990 件増加(1.1%)し、次いで2位が「一般負傷」(45,672 件)、3位が「交通事故」(14,098 件)の順となっています。
- ・年齢区分別に見た搬送人員は、65 歳以上が 120,081 人(54.9%)で、全ての搬送の半数以上を占めています。【図4参照】

(表3) 救急活動概況

		令和6年 (A)	令和5年 (B)	増減 (A-B)	増減率
救急出場件数(件)		268,123	263,089	5,034	1.9%
搬送人員(人)		218,726	209,110	9,616	4.6%
1日あたり	出場件数(件)	732.6	720.8	11.8	1.6%
	搬送人員(人)	597.6	572.9	24.7	4.3%

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

(図3) 救急出場件数・搬送人員の推移

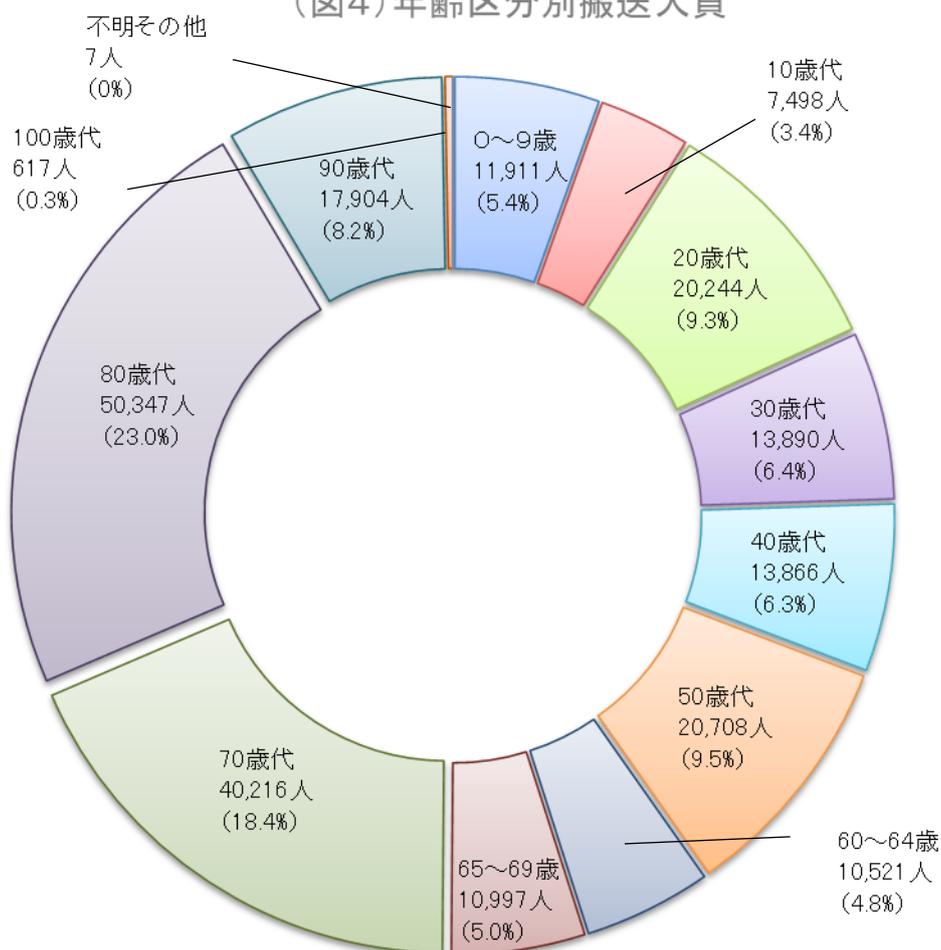


(表4) 事故種別救急出場件数

	令和6年 A(件)	令和5年 B(件)	増減 A-B(件)	増減率
急病	185,831	183,841	1,990	1.1%
一般負傷	45,672	43,930	1,742	4.0%
交通事故	14,098	14,445	-347	-2.4%
加害	2,207	2,114	93	4.4%
自損	2,593	2,621	-28	-1.1%
労働災害	1,719	1,661	58	3.5%
運動競技	1,114	1,005	109	10.8%
火災	813	798	15	1.9%
水難	95	81	14	17.3%
自然災害	7	13	-6	-46.2%
その他	13,974	12,580	1,394	11.1%
計	268,123	263,089	5,034	1.9%

※ 数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

(図4) 年齢区分別搬送人員



※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

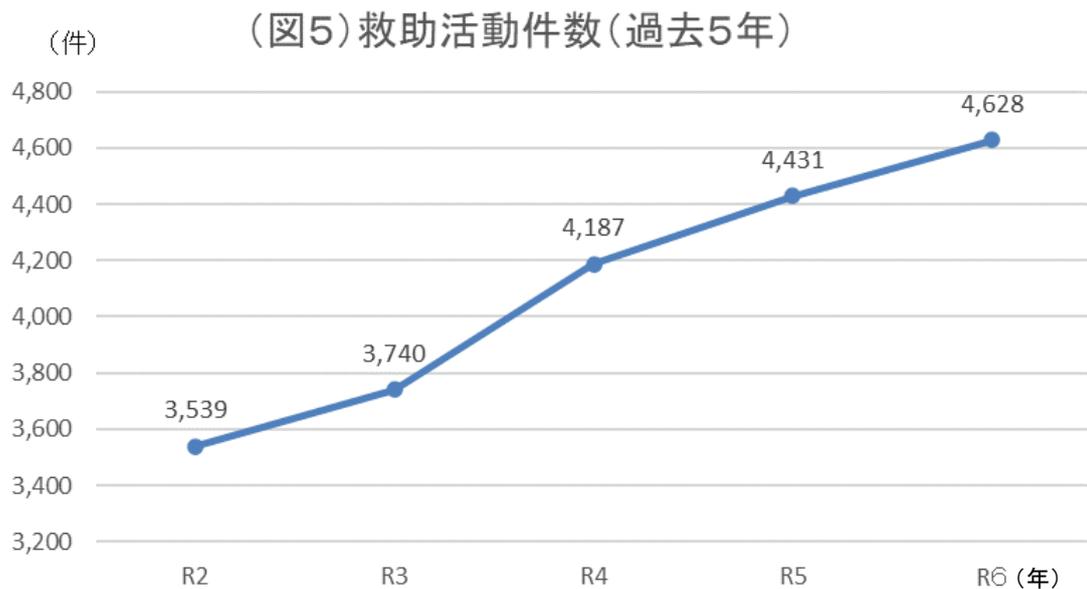
3 救助活動概況

- ・救助活動(火災を除く建物事故・交通事故・水難事故・エレベーター事故時の救出活動等)件数は4,628件で、前年と比較すると197件(4.4%)増加しました。
- ・過去5年間では、令和2年3,539件、令和3年3,740件、令和4年4,187件、令和5年4,431件、令和6年4,628件と年々増加傾向にあります。【図5参照】
- ・令和6年中、最も増加したのは建物事故(前年比96件増)で、特に高齢者の急病の場合などで室内に閉じ込められている状況での救助要請が増加しています。

(表5) 救助活動概況

		令和6年 A(件)	令和5年 B(件)	増減 A-B(件)	増減率
救助活動	建物事故	3,392	3,296	96	2.9%
	交通事故	199	170	29	17.1%
	水難事故	112	89	23	26%
	エレベーター事故	36	33	3	9.1%
	機械事故	9	14	-5	-35.7%
	酸欠・ガス事故	52	49	3	6.1%
	風水害	0	1	-1	-100.0%
	その他	828	779	49	6.3%
	合計	4,628	4,431	197	4.4%

※ 数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。



4 火災・救急・救助以外の活動概況

- ・火災・救急・救助以外の活動は、9,190 件で、前年と比較すると 244 件増加(2.7%)しました。
- ・危害排除の中では、交通事故でのガソリン漏れなどの「危険物」が、819 件と最も多くなっています。

(表6) 火災・救急・救助以外の活動概況

			令和6年 A (件)	令和5年 B (件)	増減 A-B (件)	増減率	
火災・ 救急・ 救助以外 の消防活 動	その 他の消 防活 動	危 害 排 除	危険物	819	765	54	7.1%
			集災・特災	0	0	0	-
			ガス・酸欠事故	97	106	-9	-8.5%
			浸水・漏水	67	84	-17	-20.2%
			倒壊・破壊	224	339	-115	-33.9%
			異臭	30	44	-14	-31.8%
			電気	8	12	-4	-33%
			毒劇物	1	0	1	-
			その他の事故	87	165	-78	-47%
		水防活動等	3	10	-7	-70%	
	その他	1,192	1,236	-44	-3.6%		
	小計	2,528	2,761	-233	-8.4%		
	誤報	6,613	6,117	496	8.1%		
	虚報	49	68	-19	-27.9%		
合計	9,190	8,946	244	2.7%			

※ 数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。